

年次継続監視評価表(令和7年度)

1 基礎情報

対象施設	春日部市市民活動センター
施設の設置目的	市民が、自主的に行う非営利で公益的な活動の推進を図るとともに、市民の交流及び協働を促進することにより、市民主体のまちづくりの実現に寄与するため、春日部市市民活動センターを設置するものです。
施設所管部署	市民生活部
指定管理者	株式会社コンベンションリンクージ
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
指定管理業務内容	(1)市民活動に係る情報の収集及び提供に関すること。 (2)市民活動に係る相談に関すること。 (3)市民活動に係る交流及び協働の支援に関すること。 (4)市民活動に係る学習の機会の提供に関すること。 (5)その他センターの設置目的を達成するために必要な業務に関すること。

2 施設利用状況の推移

	過去3年間の平均	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数(来所者数)	108,215人	56,748人	70,460人	101,159人	131,629人	146,418人
対前年度比	-	1,193人	13,712人	30,699人	30,470人	14,789人

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果)

	回答者数	満足度			
		施設・設備管理	接客対応	教室・イベント	全体
上半期	204	97%	95%	65%	85.6%
下半期	170	97%	96%	55%	82.6%
利用者の主な意見・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・6階、共同事務室にもWi-Fiを設置してほしい。 ・職員間の連携不足、対応のばらつきがある。 ・ぼぼらで行っているサポートや支援メニューをより充実させてほしい。 				

4 主な自主事業実績

自主事業名	内容	参加者数等
モヤモヤカフェ	年間6回実施 より多くの方に市民活動に興味を持っていただき、市民活動への参加のきっかけとなること等を目的に実施している。 市民活動を実践されている方や始めたい方等が、生活での身近な問題等をテーマにした対話の場をカフェのようなリラックスできるスタイルで行っている。	39人
フィールドリサーチ(団体訪問)	年間4回実施 現地に赴き、実際に市民活動を実践されている方の声を聞くことや、団体の方同士がお互いに話をする中で情報交換やつながりが生まれること等を目的に実施している。 市民活動を実践されている方の経験から課題を共有し、検討を行っている。	

5 主な修繕実績

修繕箇所・修繕名等	内容	金額
給湯器点検	給湯室給湯器不具合、点検整備実施	14,300円
スライディングウォール補修	会議室1・2間スライディングウォール動作不具合点検補修作業	134,200円
4階女性トイレ水洗不良	女性トイレの水洗が止まらない状況発生、電磁弁及びダイヤフラム交換にて改善	6,146円

6 収支状況

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
収入額 A	41,016,840	41,434,450	41,421,910	41,177,780	41,235,760	206,286,740
内、指定管理料 a	37,470,700	37,424,100	37,376,900	37,329,300	37,281,100	186,882,100
内、利用料金収入	3,546,140	4,010,350	4,045,010	3,848,480	3,954,660	19,404,640
支出額 B	43,205,817	41,522,169	43,188,684	43,029,877	41,807,520	212,754,067
内、人件費	30,096,363	28,708,428	30,043,037	30,029,003	26,668,032	145,544,863
収支額 A-B	▲ 2,188,977	▲ 87,719	▲ 1,766,774	▲ 1,852,097	▲ 571,760	▲ 6,467,327
対前年度比	-	-	-	-	-	-
想定事業費 C	37,413,000	37,413,000	37,413,000	37,413,000	37,413,000	187,065,000
削減額 C-a	▲ 57,700	▲ 11,100	36,100	83,700	131,900	182,900
特記事項 (増減額の説明等)						

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況等)
第1四半期	A	不適事項なし
第2四半期	A	不適事項なし
第3四半期	A	不適事項なし
第4四半期	A	不適事項なし

※評価結果の凡例

- A：適切な指定管理業務が実施されている。
 B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。
 C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取り組みを見直し。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	事業等の内容に偏りがないか。	○
		施設の利用が一部の利用者に偏った計画・実施となっていないか。	○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		受付等業務従事者の接客態度・対応は適切か。	○
		パンフレットの整備等、積極的な利用案内が行われているか。	○
		自主事業は適正・効果的な実施となっているか。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	○
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	○
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	○
		指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われているか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	会計処理業務が適切に行われているか。	○
		職員体制は十分か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	○
6	その他	適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
		個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		地域経済の活性化に繋がる市内事業者との連携が図られているか。	○
適(○)の数		20/20	

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について
施設利用者の満足度(利用者アンケート結果)では、継続してほぼ一定の水準を保っています。市民活動団体の発表の場である「ぼぼらフェスティバル」では、団体間の交流や市民への周知に工夫を凝らし集客力向上につなげるなど、市民活動について広くPRを行いました。
指導に対する対応・改善状況について
不適事項及び指導は特にありませんでした。
その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等)
継続的に、団体の高齢化への対応や市民活動の新たな担い手の育成、交流ミーティングスペースを利用する学生に、市民活動センターの役割などを周知・啓発していくなど、SNS等を使った働きかけなど具体策を講じるとともに、職員研修や職員間の連携を深めていくことで同一の認識のもと対応する必要があります。

令和7年度の評価結果	A
------------	---